

【富山県】

取組年度	平成21～23年度
品目	竹
分野	新用途の開発
用途	菌床用培地
内容と効果	<p>1) 竹材を食用きのこ栽培の培養基あるいは培地基材としての利用性を検討した。竹材容器は既存のポリプロピレン製ビン比べて子実体の生産性が劣り、集約栽培には不適である。しかし、栽培期間を考慮すれば既存栽培ビン程度の子実体を生産し、発生する子実体の大形化するので、栽培そのものを楽しむ場合に適している。2) 竹材をオガコ上に調整した竹材オガコについて、培地基材としての利用性を検討したところ、ナメコでは、ブナ材の代替材として25～50%代替できる。また、ヒラタケについては堆積処理することにより、オガコの代替材になることが明らかになった。</p>
今後の課題	堆積処理した竹材オガコについて、培地基材として用いた培養基の物理化学的特性を明らかにする。
実用化の有無	
問い合わせ先	富山県農林水産総合技術センター 森林研究所 電話:076-483-1511 FAX:076-483-1512
リンク	http://www.fes.pref.toyama.jp/